

<教育目標>



英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに

新しい^ま都会^ちに (中野中だより)

平成 29 年 9 月 1 日発行

No. 7 校長 矢口 仁

『無言館』を訪ねて — 精いっぱい生きる —

校長 矢口 仁

秋桜の 紅のみ咲いて うれしけれ 原石鼎

今日から授業が再開します。夏休みを有意義に過ごせましたか？生活の中で節目は大切です。気持ちを新たに、目標をもって、充実した学校生活を目指しましょう！



私は7月末に長野県上田市郊外にある『無言館』という美術館を訪れました。きっかけは二年前、館長の窪島 誠一郎 さんの講演会を聴いたことでした。講演を聴くまで知らなかったのですが、『無言館』には、戦没画学生たちの作品が飾られています。その話を聴いてから、一度は訪れてみたいと思っていて、今夏に実現できました。

戦争という時代でなければ、素晴らしい作品を後世に多数残したであろう若者たちの絵や手紙が壁面・ケースの中にありました。美術に情熱を注ぎ、画家として生きたかった若者たちが否応なしに召集され、戦地に赴く前に書いた作品群です。

その中に、日高 安典 さんの描く女性の絵がありました。彼は、東京美術学校（今の東京芸術大学）を繰り上げ卒業（戦争へ行くために、早く卒業させられること）しました。戦地へ赴く直前まで、大好きだった恋人の絵を描き続けたそうです。

外では、戦地に向かう兵隊たちを送る会がにぎやかに開かれています。でも、日高さんは、「あと5分、あと10分でいいから、この絵を描かせておいてください。」と叫びながら、部屋の中で恋人の絵を描き続けました。そして、「必ず生きて帰ってくるから。」と恋人に言い残し、出征しました。

その後、日高さんはフィリピンのルソン島で戦死(享年 27 歳)。この絵の続きを描くことができませんでした。このような話が『無言館』には、たくさんありました。

『無言館』の絵を鑑賞して感じたのは、そこに描かれた人物……恋人、家族、兄弟、祖母、…が、今にも動き出しそうに、語りかけそうに生き生きとしているのです。きっと、画学生の絵に対する情熱が、絵の中にずっと生きているからなのでしょう。

私たちは、限られた時間の中に生きています。その中で、自分らしい生き方を見つけ、精一杯生きることが大切なことを、画学生の絵を見ながら考えました。私たちが、とても恵まれた環境にあることを自覚し、「精励の志」を常にもち、自己を集団の中で生かせるような前向きな生活を、この秋に望みます。(8/15に思う。)

☆ 9月の主な行事予定

1	金	全校集会
2	土	
3	日	
4	月	人権週間始
5	火	
6	水	研修会
7	木	
8	金	
9	土	学校公開 道徳授業地区公開講座 人権週間終 PTA運営委
10	日	
11	月	朝礼
12	火	
13	水	研修会
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	敬老の日
19	火	
20	水	第2回定期考査
21	木	第2回定期考査
22	金	題2回定期考査 専門委 中央委
23	土	秋分の日
24	日	
25	月	生徒会朝礼
26	火	区総合陸上大会 平和の語り部⑥
27	水	職員会議
28	木	第2回オープンキャンパス
29	金	
30	土	

◎ 生徒たちの活躍

夏休みには、都大会（コンクール）や関東大会等が行われました。

暑さに負けず、生徒たちは、力を高めようと熱心に活動を続けています。

【東京都大会】[卓球部]

男子団体戦・女子団体戦 ベスト 16

女子シングルス 第3位

祝 関東大会出場！

男子シングルス ベスト 32

[ソフトテニス部]

団体戦 1回戦 対恩方中●(1-2)

個人戦 ペア 2回戦敗退

【関東大会】[卓球部]

女子シングス 2回戦惜敗

【東京都中学校吹奏楽コンクール】

[吹奏楽部] 金賞！

☆ 「人権週間」・「道徳授業地区公開講座」について

本校では「人権尊重の教育・道徳教育」を重視しています。全国的な人権週間は、12月10日の人権デーを最終日とする一週間ですが、学校独自の人権週間を9月に設定し、人権についてどうあるべきかを考え、人権感覚を高めたいと思います。

最終日の9日(土)には、道徳授業地区公開講座を行います。今年は、野方警察署と連携し、「命の大切さを学ぶ教室」を実施します。交通事故で小さな子供を亡くした中土美砂さんを講師としてお招きして、お話を伺い、「命の大切さ」について考える時間を持ちたいと思います。

保護者の皆様の多数のご参加をお待ちしています。

日時：9月9日（土）9:50～10:50

会場：体育館

敬老の日：多年にわたり社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う国民の祝日

秋分の日：祖先を敬い、亡くなった人を偲ぶ国民の祝日